

2021年日本国内及び日系海外のボンド磁石生産・需要動向

企画委員長
東京フェライト製造(株)
石橋 彰

2021年の日本国内におけるボンド磁石の生産は、2020年前半の新型コロナウイルスの蔓延に伴い世界的に経済活動が停滞した後、2020年後半から2021年前半にかけてV字回復を見せました。その後世界的に半導体不足・樹脂等の調達部品欠品の影響に伴う自動車、家電の工場稼働調整があり、又、中国では電力制限により工場稼働調整がありました、国内及び日系海外のボンド磁石生産需要動向は大きな影響を受けていないと思われます。

フレキシブルフェライトボンド磁石

フレキシブルボンド磁石は、工業部品として各種小型モータ、磁気センサ、マグロール等に使用されています。また雑貨関係では、文具、ノ

ベルティー、サイン関係に広く応用されているマグネットシートが主力製品です。

2021年の国内生産は重量3,150トン、金額22億円でそれぞれ前年比100%、105%と推定します。フレキシブル磁石は車載用途の少ない製品です。パソコンなどのファンモータなどには多く使われており、コロナ関係でテレワークとなった結果、モータ関係は2020年同様堅調です。一方、2020年から各種イベントが中止や規模縮小になったためノベルティー用品が落ち込みましたが、2021年は緩やかな回復傾向です。また、壁、オフィス用品、広告宣伝シートで使われるマグネットシートは横ばいとなりました。

日系企業の海外生産は、前年比100%で14億円で推定します。

リジッドフェライトボンド磁石

2021年の国内生産は、重量7,760トン、金額123億円でそれぞれ前年比125%、129%と推定します。リジッド用途の車載・家電について懸念された半導体不足・樹脂等の調達部品欠品の影響に伴う自動車、家電の工場稼働調整はありましたが、国内は比較的大きな影響はを受けていないと思われ堅調、日系海外においても国内ほどではありませんが比較

的堅調に推移しました。

日系メーカーの海外生産は前年比116%で86億円と推定します。

希土類ボンド磁石

2021年の国内生産は重量1,440トン、金額312億円でそれぞれ前年比109%、120%と推定します。磁粉の種類別では等方性MQPは620トン、SmFeNは490トン、HDDRは330トンと推定します。希土類ボンド磁石の最大の需要は車載関係の用途です。MQPは半導体チップ不足の影響を受けたものの海外に比べて限定的であり、全般的には堅調に推移しました。SmFeNは温度特性の問題から車載用が限定されるため、自動車減産の影響は少ないと思われます。また他の用途は比較的堅調に推移したと判断します。HDDRは車載関係の用途が多く、自動車減産が影響し軟調です。

日系メーカーの海外生産は、前年比130%で504億円と推定します。

【フレキシブルフェライトボンド】

	生産量 (トン / 年)	前年比	生産金額 (百万円 / 年)	前年比
2017年	3,400	105%	2,400	104%
2018年	3,570	105%	2,500	104%
2019年	3,500	98%	2,450	98%
2020年	3,150	90%	2,200	90%
2021年	3,150	100%	2,300	105%

【リジッドフェライトボンド】

	生産量 (トン / 年)	前年比	生産金額 (百万円 / 年)	前年比
2017年	7,340	108%	11,300	108%
2018年	7,500	102%	11,500	102%
2019年	6,900	92%	10,600	92%
2020年	6,210	90%	9,520	90%
2021年	7,760	125%	12,300	129%

【希土類ボンド】

	生産量 (トン / 年)	前年比	生産金額 (百万円 / 年)	前年比
2017年	1,540	134%	30,140	134%
2018年	1,570	102%	30,700	102%
2019年	1,400	90%	27,600	90%
2020年	1,320	90%	26,000	94%
2021年	1,440	109%	31,200	120%

【日系メーカーの海外生産金額】

単位 : 百万円

	フレキシブル	リジッド	希土類	合計
2017年	1,700	9,100	60,500	71,300
2018年	1,700	9,200	57,000	67,900
2019年	1,600	8,200	48,500	58,300
2020年	1,400	7,400	38,800	47,600
2021年	1,400	8,600	50,400	60,400